

# 地球環境子ども村だより

No.42

令和元年 9月13日(金) 発行



9月に入り、だいぶ涼しくなってきました。ススキの穂が風になびき、下旬にはフジバカマの花にアサギマダラが訪れるのが観られます。散策するのに良い季節です。

地球環境子ども村では秋の催しが始まっています。また、亀岡生き物大学も秋の教室が行われています。地球環境子ども村だよりは今回も暑い夏の熱気をお伝えします。

(=^・^=)

◎これまでの行事報告 (7月～8月)

## 亀岡生き物大学 「キャンプ教室」(中級・上級)



7月24日(水) 午後2時～25日(木)午前11時半

参加者：19名

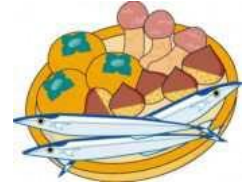
場所：地球環境子ども村 鳥の巣ロッジ

亀岡生き物大学、初の試み「キャンプ教室」が、1泊2日で行われました。1日目は、半国山の音羽川の沢登りです。京都府山岳連盟から2名の方に指導とサポートをして頂きました。溪流の清らかな水の流れに、ライフジャケットとヘルメットを付けた子どもたちが挑みます。2班に分かれ、小さい子は大きな岩や、流れの急なところだけ少しお手伝いしてもらい、滑りながらも一番上まで頑張ってみなでたどり着きました。盛り上がったのは、滑り台と呼ばれる小さな滝で、しぶきも高く上がり、歓声が谷に響きました。

2日目は、昆虫教室に使うトラップを作った後、野鳥の森の散策をしました。いろいろな昆虫が見つかり、仲田さんに質問が飛びました。サワガニ、トカゲ、ノコギリクワガタなど、キッズクラブの5人も日帰り参加で、昆虫トラップを手伝ってくれました。



音羽溪谷沢登り ↑



終わりの会では、「沢登りが楽しかった。」「友達が出来た。」「また、キャンプしたい。」と、感想文には楽しかった思い出がキラキラしていました。☆☆☆

## 亀岡生き物大学 「昆虫教室」(初級)



7月27日(土)午前10時～12時 参加者：45名

場所：地球環境子ども村 野鳥の森

講師：仲田丞治氏 (子ども村推進官)

講師の仲田氏が「亀岡のクワガタムシ」と銘打って、昆虫や生き物の特徴や不思議な点等のお話しをされました。また、参加者に好きな虫、嫌いな虫を発表してもらったり、クワガタやカブトムシの絵を描いてもらいました。

それから京都先端技術大学の「いきものふれあい隊」のみなさんが、自分たちで採集したカブトムシやクワガタムシを子どもたちに見せてくれました。さわるのが初めてなのか、こわごわつまもうとする子や、カブトムシを手に乗せ目を輝かせる子、みんな自分の番をわくわく待っていました。

それから野鳥の森へ、昆虫観察に出かけました。木には、先日のキャンプ教室で仕掛けたトラップが巻かれています。1つずつ開けてみては、「いなかったー」「わ!?ムカデや!」と子どもたち、4つ目にやっとかクワガタがいて、その後スジクワガタやミヤマのメスも採れました。また、立派なノコギリクワガタも見つかりました。

よーく観察した後は、みんな森へ放してあげました。「この森が昆虫たちのお家なんだよ。」と、このクワガタたちが子孫を残して、来年もまた会えるように願っています。



中に何が入っているかな? ↑

ノコギリクワガタ  
見つけた!



亀岡生き物大学 特別講座  
「親子でゲット！  
チリメンモンスターを探せ！」



8月1日(木)、2日(金) 午後2時~4時 参加者：計16名  
講師：植木 永子(環境学習指導員)

1日は、初級編、見つけたチリメンモンスターを紙皿に貼って、紙皿標本を作ります。11名の親子のご参加があり、全員でチリメン探しを楽しんでくれました。タツノオトシゴやヨウジウオなどのレアものをゲットして喜んでいる親子や、イかにこだわって集めているユニークな子もいて、それぞれ個性的な標本を作ってくれました。

2日は、上級編として紙箱を使った本格的な標本を作りました。2組の親子でじっくりチリメンを探すことが出来ました。紙箱に、チリメンを貼った紙を貼り付け、立派な紙箱標本が出来上がりました。釣り好きの男の子は魚の種類にも詳しく、「これは、コチだ!」「カワハギや!」と、どんどんゲットしていました。

チリメンモンスターの故郷は大阪湾です。亀岡市とは川という水の道でつながっています。ごみを捨てないことが、大阪湾の生き物を守ることにつながります。そして、美味しい海の幸を守るためにも、大切なことですね!



このチリメンは何だろう? ↑

亀岡生き物大学 特別講座  
「消しゴムはんこ教室」



8月8日(木) 午前10時~12時 参加者：30名  
講師：いとうみき氏(消しゴムはんこ作家)

講師のいとうみき先生は亀岡市出身の方で、現在は千葉県でアトリエを開いています。まず環境に優しい紙「バナナペーパー」についてのお話、草であるバナナは、一度実をつけた後に枯れてしましますが、これを紙の材料として活用したそうです。お話の後は早速はんこ作り、それぞれネコやかき氷などの好きなモチーフを選び、消しゴムにそれを写して彫る作業を行いました。カッターナイフを持ち、危なっかしくも勇ましく彫り進めていく子どもたちの姿に、保護者の方々も心配な様子で見守っていました。

先生は机を周りながら彫るコツを子どもたちに伝え、教わった子どもたちは見違えるように上手になりました。

今回は、作った消しゴムはんこをバナナペーパーに押し、シールも作りました。「上手に彫れてよかった」「かわいいシールができた」と、子どもたちは得意気に作品を見せてくれました。「もっと消しゴムはんこを作りたい」「来年も参加したい」という声もあり、みなさんすっかり消しゴムはんこにハマっている様子でした。



出来た消しゴムはんこを持って、集合! ↑

◎生き物大学特別講座(10月)

1、秋の薬草ツアーと薬膳料理

10月11日(金) 午前10時~13時 定員20名

神前の里道を歩き秋の野草と薬草の観察をします。その後、チョロギ村レストラン「わすれな」でおいしくて体にやさしい薬膳料理を頂きます。昼食代として1,550円ご負担いただきます。

2、星空観望会☆秋

~オリオン座流星群を観よう!~

10月19日(土)午後6時半~8時 定員50名

秋の星空観望会は、オリオン座流星群を観察します。

また、シーズン最後の土星も望遠鏡で観察しますよ!

どなたでも無料でご参加できます。ただし、小学生以下のお子さまは保護者同伴でお願いいたします。

募集開始は、1,2ともに9月25日(水)からです。

詳しい内容や応募要項は、きらり☆亀岡おしらせや、地球環境子ども村のホームページ、またはフェイスブックをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。(文責：植木)

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL: 0771-26-6100 Fax: 0771-26-5002

Email: kodomomura@city.kameoka.lg.jp